

No	9												
指標名	地域分娩貢献率												
定義	$\frac{\text{(分子) 院内出生数}}{\text{(分母) 二次医療圏内の出生数}}$ ※二次医療圏...当院は松山医療圏 (松山市、伊予市、東温市、松前町、砥部町、久万高原町)												
結果	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>本院 (%)</th> <th>全国中央値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2017年度</td> <td>26.5%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>25.4%</td> <td>13.5%</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>24.1%</td> <td>12.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(当院)2017年度、2018年度、2019年度における当院のデータ (全国)2017年度、2018年度、2019年度に実施した病院の中央値 (2020/04/25時点) ※他院との詳細な比較につきましては「全国自治体病院協議会 医療の質の評価・公表等推進事業」のページをご参照ください。</p>	年度	本院 (%)	全国中央値 (%)	2017年度	26.5%	14.4%	2018年度	25.4%	13.5%	2019年度	24.1%	12.0%
年度	本院 (%)	全国中央値 (%)											
2017年度	26.5%	14.4%											
2018年度	25.4%	13.5%											
2019年度	24.1%	12.0%											
コメント (解説)	<p>データから二次医療圏内での分娩貢献率はほぼ横ばいであり、全国中央値の約2倍に高く維持されています。</p> <p>また二次医療圏に限らず、当院総合周産期母子医療センターの特徴は、愛媛県全体の基幹周産期医療施設として、県内全ての周産期医療機関と連携し、合併症妊娠・多胎妊娠・切迫流早産・胎盤位置異常・胎児異常などのハイリスク妊娠・分娩の母体や出生体重1000g未満の超低出生体重児や先天異常など病的新生児を、24時間体制で受け入れている点です。</p> <p>愛媛県内ハイリスク分娩の半数以上を受け持っており、愛媛県全体において周産期医療の中心的役割を果たしています。</p>												